

仲間と競争せず、弱い立場の人と共に団結して闘おう。

期間雇用社員、希望者全員を正社員化する。

めざせ、均等待遇、なくそう差別！

ユニオンは労基法裁判に勝利するぞ！

# 第74回地区労定期大会

# 未来



全労協・郵政産業労働者  
ユニオン長崎中郵支部  
機関紙・「みらい」  
NO. 3798  
17年10月20日(金)  
・Fax 095-828-1953



おはようございます。  
10月14日(土)九州  
労金長崎支店4階会議室に  
おいて、第74回地区労定  
期大会が開催され、支部か  
らも山田書記長が代議員と  
して出席しました。

大会は神浦副議長の開会  
挨拶に始まり、資格審査報  
告では代議員91名中、6  
1名の出席、22名の委任  
で今大会の成立が報告され  
ました。続いて、議長団に  
は大竹代議員(全農林なが  
さき)と小川代議員(長崎  
市職労)が選出されました。  
大会役員任命、議事日程の  
確認、選挙管理委員会報告  
と続き、地区労を代表して  
平野議長が挨拶をされました。  
続く来賓挨拶では平和  
運動センター松田議長、社  
会民主党長崎総支部中里幹

事長、民進党渡辺幹事長の  
3名の方が挨拶をされまし  
た。その後、来賓紹介、祝  
電披露が行われ、議案の提  
案へと入って行きました。

1号議案、決算報告を加  
世田書記長が行い、ここで  
一旦休憩を挟み、2号議案  
(17年度予算案)が提案  
され、議案の討論へと入り  
ました。

討論では5名の代議員の  
方が発言されました。

現在行われている2つ  
の裁判では長崎地区労には  
大変お世話になりました。  
今後とも団結して頑張ってい  
きます(県タクシー労組)

長崎バスユニオン桜の  
里支部組合委員4名に対し  
て前例のない不当な懲戒処  
分と不当な転勤移動を通告  
したため、会社側  
と団交を行った。

会社側はスト回避へ向け  
た誠実な回答や協議もなく  
不当な懲戒処分と転勤移動  
を発令してきた為、我々は  
10月2日と3日にストラ  
イキを決定した。また、車  
両問題では労働委員会の和  
解案も拒否し、会社側の態  
度は許すことはできない。  
今後は裁判も視野にいれて、  
たたかっていきます(長崎  
バスユニオン)



③戦争法案は廃止に向け  
た取り組みとして、県庁前  
の座り込みを行っている。  
地区労傘下の組合員の方に  
は集会に参加していただき  
大変感謝しています。自治  
体職員は戦前、徴兵事務を  
行い戦争に加担した歴史が  
あります。今後も引き続き  
戦争法廃止に向けた運動を  
行っていくます(県職員労  
組)

三菱の豪華客船は27  
42億円の損失を出し、大

型客船事業から事実上撤退  
した。会社も分社を行い、  
16,000人いた従業員  
が現在は1,600人もい  
ない(三菱重工長崎分会)

九州商船は社長の独裁  
経営で、周りの言うことな  
ど全く聞く耳を持たない。  
今年の一時金の交渉では昨  
年実績を大きく下回る月数  
を提示してきた。海員組合  
がストライキを武器に交渉  
した結果、昨年を上回る一  
時金を勝ち取った。しかし、  
陸員組合には最初提示した  
月数(3,0カ月)しか支  
給しない(ストをしていな  
い為)など差別を行っている  
(九州商船陸員労組)

この発言に対して執行部  
としては加世田書記長が補  
足の答弁を行い、参加者全  
員の拍手で1号議案2号議  
案共に採択されました。

続いて役員改選が行われ、  
10年地区労議長を務めら  
れた平野議長が退任され、  
県教祖長西総支部の小宮議  
長にバトンタッチする事  
になりました。新旧役員挨拶  
の後、大会役員、議長団が  
解任され、最後は小宮議長  
の力強い団結カンパニーで  
今大会は締めくくられまし  
た。

期間雇用パート労働者の皆さん! 困りごとは職場の郵政ユニオンへご相談を。

1 集-山本, 2 集-向井, 3 集-山田, 郵便-高田, ゆうちょ銀-上筋, 他支部・分会の役員へ。